

2013年度(平成25年度)

事業報告書



公益財団法人キープ協会

目次

2013 KEEP REVIEW	2
<hr/>	
公益Ⅰ.環境教育事業	3
1.やまねミュージアム＝環境研究所	
2.フォレストアーツスクール	
3.八ヶ岳環境と文化のむら	
山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター	
4.環境省・日光国立公園	
那須平成の森・那須高原ビジターセンター	
5.環境研究所	
6.地域との環境教育事業	
公益Ⅱ.酪農事業	7
・キープ農場	
公益Ⅲ.研修交流事業	9
1.清泉寮	
2.自然学校	
3.ポール・ラッシュ記念館	
公益Ⅳ.国際地域事業	11
公益Ⅴ.保育事業	16
・清里聖ヨハネ保育園	
<hr/>	
収益Ⅰ.製販事業	17
収益Ⅱ.ホテル事業	20
<hr/>	
広報部	21
キープ協会の環境への取り組みについて	22

2013年度 KEEP REVIEW

2013年度の公益財団法人キープ協会は、KEEP for the Future 2013(キープ新5か年中長期計画)の第1年目としてのスタートを切り、年度計画に基づき事業を展開した。また、昨年3月に逝去された金井前会長のあとを受けて、1月に糸魚川新会長をお迎えすることができた。

特に、清泉寮開設75周年記念事業としてのカンティフェアやシンポジウム等の開催を行ったほか、キープ環境教育30周年記念事業も清里と東京で開催することが出来た。そのほか公益財団法人として満2年を迎えたキープ協会の2013年度の REVIEW は以下の通りである。

1. トントンの採算性を目指して

最終的には減価償却費込みでトントンを目指してZ旗を上げているが、キープの現状と実力・努力はそこまでに至っていない。数的には過去3年ほとんど同じ赤字額であるが、内容的には変化があり、2014 年度予算達成の工夫材料とする。その大きなポイントは、清泉寮の年間稼働率を限りなく100%に近づけることである。

2. KEEP for the Future の完成と職員研修

「KEEP for the Future 2013」検討委員会によりまとめあげられた中長期計画のブレイクダウン作業を行い、年度ごとの具体的な計画・目標を設定した。また冬季・閑散期を利用して、①ビジネスマナー研修 ②労務管理研修 ③英語集中講座 ④財務研修 ⑤聖書カフェ ⑥異業種交流によるイベント支援研修(七賢酒造・山梨銘醸)と発酵マルシェの開催、などの職員研修を実施した。その効果が日常業務に生かされることを期待するとともに、継続的に研修を実施していく。

3. 清泉寮本館の今後の方針確定

清泉寮本館の耐震工事を実施し将来に備えたほか、本館およびアンデレ客室は2016年度をもって宿泊用途の使用を終了し、ポール・ラッシュ博士の理念に基づき建てられた歴史的建造物として新たな活用方法を探ることになっているが、清泉寮別館の建て替え問題を含めて、その原資をどうするか課題が残っている。

4. FD 活動と Friends of KEEP 会員獲得活動

キープ協会のサポーター組織である FOK をスタートし、2013年度の目標を2300万円に設定し活動を行ったが、目標が過大であったため、実績は400万円にとどまった。財政的サポーターの獲得増強に向けて活動をすすめたい。

5. 清里聖ヨハネ保育園・新園舎建設のための募金活動

2014年度末の完成を目指して計画進行中の「清里聖ヨハネ保育園・新園舎建設事業」を遂行するための募金活動として、目標を3000万円に設定し、地元の卒園生・保護者を中心にした募金委員の会を立ち上げ、本格的な募金活動をスタートした。

6. 地域社会とのつながり

ポール・ラッシュ祭だけが地域との繋がりでなく、日常的にもっと地域発展の役割の一端を担うキープとして、地元活性化に努力を払っていく。



公益財団法人キープ協会

理事長 茅野 徹郎

公益 I . 環境教育事業

環境教育事業 30 周年の年度として、清里と東京での記念の集いを柱に大小様々な 30 の関連企画を実施した。また、清里と那須を拠点に「教育」と「研究」を両輪とした環境教育事業を展開した。

1. やまねミュージアム

(1) やまねミュージアムの役割

26 年目を迎えたヤマネの総合的な研究のさらなる推進、ヤマネ保護と森林生物多様性保全の提案、研究成果を活かした環境教育・環境保全策の普及

(2) 2013 年度の重点目標

ヤマネ研究成果の総括・発信と展示への活用ならびに社会貢献への応用

(3) 2013 年度の事業実績

①研究成果を活かした環境教育プログラムの研究開発と実践

②ヤマネ保護と環境保全の提案に向けた研究の推進

③総合的なヤマネ研究の推進（宇宙滞在への応用も見据える）

④調査受託

⑤「やまねミュージアム」の管理運営

⑥樹上性動物保護の具体策「アニマルパスウェイ (AP)」の普及 (AP 研究会構成員として) →「2013 年 日経地球環境技術賞」優秀賞受賞、シンポジウムの共催、論文作成 (共著)

(4) 開館日数、入館者等の実績

表 1 : 2013 年度やまねミュージアム開館日数・入館者数等の実績

	2013 年度	2012 年度	増減／昨年比
年間開館日数	280	293	△13 (※雪による臨時休館)
入館者数	19,714	19,003	+711／103.7%
1 日平均入館者数	70.4	64.8	+5.6／108.6%
利用団体数	67	59	+8／113.5%
団体利用者数	3,644	3,160	+484／115.3%

2. フォレスターズ・スクール

(1) キープ・フォレスターズ・スクールの役割

環境教育プログラムの提供（主催事業・受託事業）、
環境教育プログラムの研究・開発、
環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

(2) 2013年度の重点目標

環境教育事業 30周年記念イヤーとして総合的な環境教育を推進

(3) 主催事業

「実験」「協働」「プログラム開発」という位置づけの下、以下のプログラムを実施した。（表2参照）

表2：2013年主催事業の実績

	2013年度		2012年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数
宿泊型環境教育プログラム	17	417	19	413
日帰り型環境教育プログラム	18	488	19	269
立ち寄り型環境教育プログラム	12	631	—	—

(4) 受託事業

学校・企業・省庁・自治体などから受託事業を受入れた。（表3参照）

表3：2013年度受託事業の実績

区分	対象	主な利用団体
清里での プログラム	学校関係	立教池袋中学校、聖心女子学院初等科、各種公立学校、青山学院短期大学、立教大学・大学院、明星大学、ハリウッド美容専門学校、高崎看護専門学校
	行政関係	林野庁、北杜市
	一般	日本環境教育フォーラム、NEC、グリーン北杜、神社本庁、聖路加国際病院
出張 プログラム	行政関係	栃木県、環境省、林野庁、富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、青少年教育振興機構、北杜市、青年海外協力協会、神奈川県青少年センター
	一般	中部電力、サントリーグループ、電源開発、JX日鉱日石エネルギー、伊豆半島ジオパーク
合計	269事業	

(5) 指導教育

職員や新職員のスキルアップのための研修を行った。また、事業部として4人の実習生を迎え、関係団体から1名の研修生を受入れた。さらに、複数の大学からインターン生を受け入れた。

3. ～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター

(指定管理事業)

(1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良好な環境の保全と継承に貢献します。

(2) 2013年度のテーマ＝自然と未来

(3) 2013年度の事業実績

施設展示、プログラム開発、自主企画事業の実施、自然資料収集のための調査教材開発、地域の拠点施設としての活動、周辺の文化施設、地域にあるネットワークとの連携、自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理

(4) 開館日数、入館者等の実績

表4：2013年度八ヶ岳自然ふれあいセンター開館日数・入館者数等の実績

	2013年度	2012年度	増減／昨年比
年間開館日	320	322	△2
入館者数	87,230	92,433	△5,203／94.3%
開館（1994.11）以来の 総入館者数	1,681,281	1,594,051	
1日平均入館者数	272	287	+15／94.7%
利用団体数	293	297	△4／98.6%
団体利用者数	19,761	18,049	+1,512／109.4%
プログラム回数・参加者数	293／10,643	277／5,054	+51／+5,589

4. 環境省 日光国立公園

(1) 事業実績

①全体

2014～2016年度業務請負に関する入札参加に向けての業務

②那須平成の森

フィールドセンター運営、プログラム開発と実施、環境教育指導者養成事業の実施、屋内外の展示制作、公園の環境管理、「那須平成の森基金」の事務局運営

③那須高原ビジターセンター

ビジターセンター運営 那須甲子地域との連携事業

(2) 開館日数、入館者等の実績

表 5 : 2013 年度那須平成の森・那須高原ビジターセンターの実績

	2013 年度	2012 年度	増減
●那須平成の森			
年間開館日	345	348	△3
入館者数	80,268	99,426	△19,158
(内、立寄り団体利用者数)	17,098	24,569	△7,471
公募ガイド参加者数	1,841 (281 回)	2,333 (355 回)	△492 (△74)
公募ガイド特別編参加者数	122 (19 回)	138 (21 回)	△16 (△2)
無料ミニプログラム参加者数	5,795 (898 回)	5,795 (927 回)	増減なし (△29)
受託団体プログラム参加者数	2,272 (58 団体)	2,746 (91 団体)	△474 (△33)
●那須高原ビジターセンター			
年間開館日	347	348	△1
入館者数	25,978	35,971	△9,993
(内、立寄り団体利用者数)	12,856	12,127	+729

5. 環境研究所

環境教育事業部の柱の 1 つとして、事業部横断的に活動を行った。

(1) 環境保全研究

主にやまねミュージアムが担った (詳細は 1 参照)。

(2) 環境教育研究

環境教育実践の整理・研究・発表、キープ協会全体の教育活動の整理・研究
指導教育に関する研究

6. 地域との環境教育事業

(1) 地域との環境教育事業

地域の教育機関・福祉機関への協力、地域住民に対する環境教育、
構成員としての関わり、北杜市内各種ネットワークへの参画

公益Ⅱ．酪農事業（キープ農場）

1. 牛乳生産（有機 JAS 認定）

年間平均 135 頭のジャージー乳牛の飼育管理を主とした酪農業務に専念した。そのうち 57 頭の搾乳を行い、総生産量 190,686kg の牛乳を生産した。その殆ど（185,540kg）は群馬県前橋市にあるタカハシ乳業に出荷され、低温殺菌による製品化を経て、KEEP 有機 JAS ジャージー牛乳として主に首都圏及び消費者団体に出荷、高品質・安心・安全のジャージー牛乳として高く評価され販路も安定してきた。また草地管理面積約 72ha（採草地 45ha、放牧地 25ha その他 2ha）で飼料用牧草を栽培し、乾草、サイレージ用とした。飼料の安心安全・衛生面を改善し、有機 JAS 認定牛乳の生産維持に努力した。

2. 山梨県等との協力

山梨県の酪農経営安定の為、山梨県畜産課、酪農試験場、西部家畜保健衛生所、山梨県改良協会、家畜共済、乳量検定組合等に乳牛飼育者の立場で協力した。

3. 酪農体験・実習生受け入れ・害獣調査

教育農場としての役割を果たすべく、一般の酪農体験のプログラムを提供するとともに、日本大学生物資源科学部（26 名）、麻布大学（7 名）、宇都宮大学（1 名）、長野県立農業大学校（1 名）の学生による牧場実習体験を受け入れた。また大型連休・夏休み等の来場者が多い時期に、野外搾乳体験・ヘイライドなどを実施した。

また、筑波大学による近年増加傾向にある鹿の頭数及び獣害（食害等）についての調査に協力し、実態の把握に努めた。

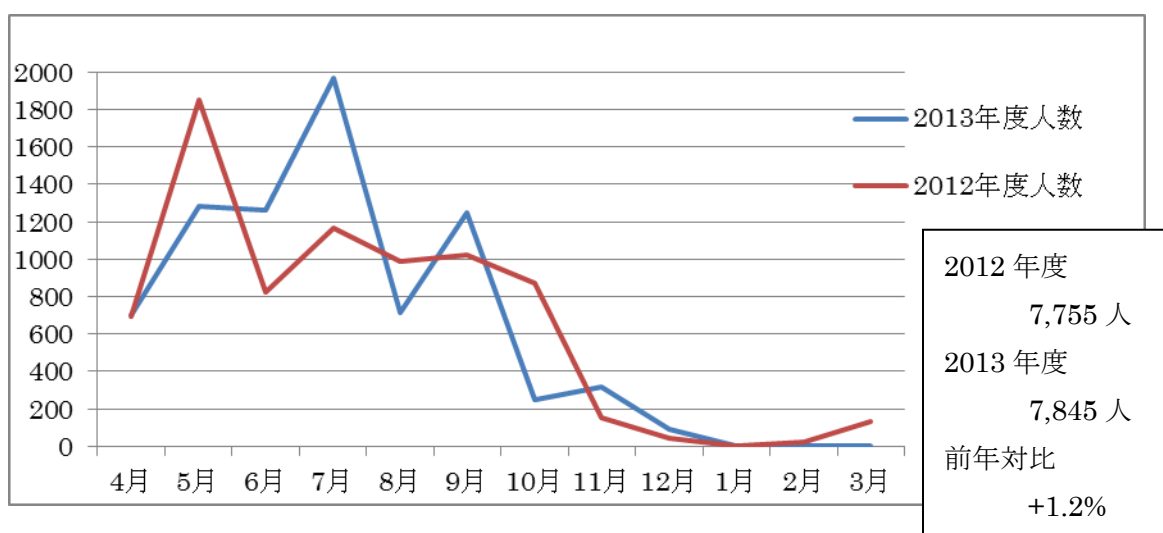
4. 酪農環境負荷軽減支援事業

山梨県酪農環境負荷軽減支援事業推進協議会に参加し、酪農環境負荷軽減支援事業を実施した。

5. 飼育頭数及び乳量

飼育頭数	2012年度	2013年度	増減
成牛	71	69	△2
育成牛	32	35	3
哺乳牛	27	31	4
合計	130	135	5
内 搾乳頭数	68	57	△11
総生産乳量	211,850kg	190,686kg	△21,164kg

6. 酪農体験プログラム利用者数



公益Ⅲ. 研修交流事業

研修交流事業部は、公益部門として清泉寮・自然学校・ポール・ラッシュ記念センター（本年4月よりポール・ラッシュ記念館と改名）の運営を行った。

1. 清泉寮および食育部

清泉寮は、引き続き他施設との差別化及び公益法人施設としての特徴を出しながら健全経営を目指した。

- (1)体験型プログラムを充実させた。前年比で実施回数 42%増加、参加人数 32%増加した。
- (2)ホームページの充実、予約システムの変更等を行った。より清泉寮を知っていただくため、わかりやすく、予約しやすい表示にした。今後、来年度をめぐりに新たなホームページに移行し、スマートフォン等にも対応したものにしておく予定である。
- (3)各種案内を充実させた。まだ十分ではないが、今後も英語表記やわかりやすい案内への改善を進めていきたい。
- (4)食育の考えのもと、地元農家との連携、仕入れ業者との密なコンタクトなどで、食材へのこだわり・手作りの徹底等、公益施設としての使命とお客様への満足度を上げる努力を行った。
- (5)福島を家族と呼び寄せるプログラムに引き続き参加するなど、公益宿泊施設としての役割を果たしてきた。

2. 自然学校

自然学校は「もりのようちえん」に代表される自主プログラムが非常に好評で、自然学校独自のサービスや食育等のこだわりにより学校団体や研修団体を多く獲得でき、利用客増につながった。

- (1)清泉寮同様食育に力を入れ、清泉寮とは違った切り口で食育を推進、スポーツ栄養学を取り入れた食事の提供等を行った。
- (2)保育園とのつながりから、幼児教育に関する関わりも増やした。
- (3)薬物依存症者民間回復施設「山梨ダルク」との協働作業、福島在住の子供たちのキャンプ、病気をもった子供たちの宿泊プログラムなど、公益に沿った各種活動も積極的に実施した。

3. ポール・ラッシュ記念館

ポール・ラッシュ記念館は、より多くの方に施設を知っていただくことと、資料の整理を中心に活動した。

- (1)上半期は、“Vision”というテーマで、ポール・ラッシュ博士が清里で行った事業を紹介し、彼が何を目指していたかを紐解いた。下期は、同じ北杜市に居を構え、この地を愛しているポール・スミザー氏の企画展を実施した。
- (2)県立博物館の協力を得て、博物館の資料保存、施設等に関するアドバイスをいただき、それに基づき本来の博物館施設とすべく、計画実施を継続中である。
- (3)日本アメリカンフットボールの殿堂の活性化、展示の入れ替え、ブログの開始、マスコミへの情報提供などで、取材数も増え、施設を知っていただく機会が増加した。
- (4)懸案であった資料の整理をスタートさせ、館所蔵資料のデータベース化の準備、清泉寮所蔵の美術品（渡辺禎雄氏の宗教画、ネイティブアメリカンアート等）の一時撤収、検査、修復作業の準備など行った。

公益Ⅳ．国際地域事業（国際地域部、FD、ランドスケープ・プロジェクト）

■国際地域部

1. 国際交流・協力事業

(1) 国際姉妹地域交流事業

北杜市国際交流委員会に協力してケンタッキー州マディソン郡と次の交流事業を実施した。

① 5月13日～22日 3回の学習会を経て北杜市代表団親善訪問事業に職員随行

② 10月15日～22日 マディソン郡代表団受入れ

(2) 北杜市中中学生海外交流事業

北杜市教育委員会からの委託により、北杜市の中学生18名のカナダ・アルバータ州クロズネストパス訪問事業について、企画コーディネート業務を担当した。

① 事前セミナーの企画・実施 5回

② 現地訪問 8月9日～8月16日

(3) 聖公会三教区青年交流プロジェクト

日本聖公会横浜教区、フィリピン聖公会北フィリピン教区、米国聖公会ナバホランド・ミッションの青年信徒による交流プロジェクトに協力した。

① 海外教区との連絡調整、フィリピン参加者の査証申請等

② フィリピン聖公会北フィリピン教区参加者の来日旅費

③ キープ清里キャンプ場でのオリエンテーション・プログラム 8月17日～8月20日

④ 東北プログラム同行 8月21日～8月25日青葉静修館での生活支援等

⑤ 横浜・広島・京都プログラム同行 8月26日～8月30日

(4) ピースフィールドジャパン絆プロジェクト

イスラエル、日本、パレスチナの青少年の対話と交流による平和のための活動で、キープ清里キャンプ場、清里聖ヨハネ保育園、ポール・ラッシュ記念館等でのオリエンテーション・プログラムに協力した。8月13日～8月15日

(5) フィリピン農山村援助交流事業

① ポール・ラッシュの会とキープ日本後援会の協力により、青少年指導者養成プログラム(奨学金)を継続した。

② スマデル灌漑トンネル建設プロジェクトの助成金等獲得については事業計画の調査段階にとどまり実現には至らなかった。当プロジェクトによ

る農産物の増産に伴う有機農産物の市場開拓を視野に入れ、バギオならびにマニラでのオーガニック市場を調査するとともに、日本と世界のオーガニック市場の進展状況を学ぶため、NPO オーガニック協会主催の「オーガニック起業家養成講座」を受講した。

- ③ 緑の募金公募事業(国土緑化推進機構)による森林再生プロジェクト
フィリピン山岳地帯での植林及びアグロフォレストリーの普及を図ることを目的に、現地の環境 NGO(Cordillera Green Network)との協働により次の事業を実施した。

・2012年7月～2013年6月 ベンゲット州ブギアスでの水源共有林の再生及び保護事業

・2013年7月～ ベンゲット州トゥバにおける森林再生と持続可能な森林保全文化の形成

(6) キープアメリカ後援会

ACK との協働により、夏季ボランティアの受入れ(1名)、BEREA COLLEGE のインターンシップ計画、米国聖公会の青年信徒ボランティア(YASC)受入れ、米国聖公会ナバホランド・ミッションを訪問した他、ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～のポール・ラッシュ博士来清 75 周年記念事業・フォスターミュージカル招聘について協力を得た。

(7) 研修生等受入

① Jacobi Alvares さん ACK の紹介 8月10日～

② フランス リール大学夏季実習 2名 7月3日～8月25日

③ フィリピン聖公会北フィリピン教区青年信徒 6名 (聖公会三教区青年交流プロジェクト)

④ 長坂中学校夏季職場体験 8月7日、1名受入れ

⑤ フィリピンの有機農業指導普及員 Arlene Sagayo 氏の視察受入れ 10月15日～20日

⑥ 米国聖公会 YASC ボランティア Charlotte File さん受入れ 1月8日～

(8) WYSE インターナショナルのキャンプを支援

日本で初の開催となる国際リーダーシッププログラムを WYSE Japan と共催、キープ清里キャンプ場での10月26日～11月7日にわたるプログラムに協力した。18ヶ国から35人が参加。開催費用の募金、査証申請、送迎、プログラム・スタッフ等、協力した。

2. キャンプ場運営

- (1) 名称を「キープ清里キャンプ場」とし、10名以下の家族連れ・小グループにも門戸を開き、利用の促進に努めた。79組(延3,582人、123日泊)が宿泊利用した。また、日帰り型では、酪農事業部と協働しての食育プログラムも実施した。
- (2) 西の魔女が死んだロケセット
ロケセット一般公開 43日間
2014年GWをもって公開を終了することとなり、原作者、製作会社等への挨拶とともに解体・撤去に関する準備作業を行った。

3. 酪農事業部との協働

- (1) オーガニック畑プロジェクト
将来的に、キープ清里キャンプ場等でのプログラムに結びつけることと、有機農業のノウハウの蓄積、食材の調達等を目指して、農場地内の畑で試験栽培を開始した。

4. 地域協働

- (1) 北杜市長期滞在型リトリートの杜事業コンソーシアム
体験旅行商品の開発を目的にした地域の活動で、事務局業務に協力した。なお、コンソーシアムは今年度をもって活動を終了し、北杜市観光協会に合併して事業を承継することになった。
- (2) 良い食品づくりの会(第10回良い食品博覧会)
6月1日(土)～2日(日) 清泉寮前広場、新館レストラン等、現地事務局をつとめ、県・市・報道機関への後援申請・報告、保健所対応、会場設営等を担当。なお、良い食品博覧会の清里での開催は今回をもって終了した。
- (3) やまなし発酵マルシェ
3月23日(日) 清泉寮前広場・本館ホール
実行委員会に参画し、当日は、「発酵鍋」の調理・提供を担当した。
- (4) 北杜市環境保全事業「北杜市民のための環境文化映画会」
環境と食に関わるテーマの内外の上質なドキュメンタリー映画の鑑賞と体験を提供、北杜市民の皆さんに環境文化に触れていただく機会を提供した。
第1回 9月25日 「ダート！」2名
第2回 3月8日 「地球交響曲第七番」39名
第3回 3月15日 「ある精肉店のはなし」35名
第4回 3月18日 「第四の革命」21名 計97名

■ F D (Fund Development)

(1) フレンズ・オブ・キープ事務局

清泉寮クラブ会員 2,000 名、維持会員 1,000 名を目標とし、広報部が制作した「キープだより」の寄付者等への DM 活動を展開したが、クラブ会員 199 名、維持会員は個人 176 名・法人会員 12 社と目標には遠く及ばない結果となった。

(2) 国際交流事業（聖公会三教区青年交流プロジェクトおよび WYSE ILP）に対する寄付金募集

(3) 会員及び寄付者とのコミュニケーション活動

① ホームページをリニューアルし、その更新等日常管理にあたった。また、事務局デスクを 清泉寮本館案内所におき、来訪者・宿泊者の問い合わせ等に対応した。

② ホームページを活用して、フレンズ・オブ・キープに関する受容性調査を実施した。

(4) ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～事務局

ポール・ラッシュ博士が八ヶ岳の麓・清里に青少年のための指導者養成訓練キャンプ場・清泉寮を開設して 75 周年を迎え、実行委員会では、ポール・ラッシュ博士の理想と精神を継承しての地域づくりを進めていこうと、75 周年記念事業を下記のとおり実施した。特に、ケンタッキー州と北杜市の交流を背景に、同地で 50 年以上続いている野外ミュージカル「スティーブン・フォスター・ストーリー」のメインキャストの招聘が実現し、75 周年記念祭に相応しい内容とすることができた。さらに、かつて、ポール・ラッシュ博士が地域に酪農を奨励し開催していた「共進会」を復活開催することができ、収穫感謝祭として充実させることができた。

来賓には、米国大使館、韓国総領事、中国大使館、ケンタッキー州政府代表等を迎えることができ、毎年、ポール・ラッシュ祭に合わせて来日するマディソン郡代表団およびクラフト作家の参加を得て、例年に増して国際色豊かな催しとなった。

ただ、生憎、2 日目の日曜日は雨天となったため、参加者数は例年を下回る結果となった。（好天の場合で延 50000 人規模であるが、日曜日が悪天候となったため 2 日で延 25000 人程度と推定される）

① 国際シンポジウム 6 月 30 日

② 記念講演会 8 月 10 日

③ ポール・ラッシュに学ぶ八ヶ岳フォーラム 10 月 10 日

④ ケンタッキー州マディソン郡代表団歓迎交流会

- ⑤ ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2013 10月19日～20日
ステージプログラム、ケンタッキークラフトフェア、やまなしクラフト
市、カンティフェア市場、共進会・八ヶ岳ホルスタインショウ、国際児
童絵画展ほか

■ランドスケープ・プロジェクト

(1) 2012 年度

- ① 清里高原道路シーニックデッキからの眺望改善のためアカマツ伐採に関する事務事業
- ② 山梨さくらの会献職受入れ

(2) 2013 年度

- ① KEEP ランドスケープ・プロジェクト 基本ゾーニング計画
- ② ニホンジカ対策計画

公益Ⅴ． 保育事業（清里聖ヨハネ保育園）

キリスト教の精神に基づき、「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、地域の資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動を重点的に行った。また、キープ協会の公益事業の中でも、地域社会とのつながりを深めるキーステーションとして、地域との交流事業にも積極的に取り組んだ。

1. 異年齢児保育の継続

2013年度は、野外での活動の多くを、異年齢児保育として取り組んだ。そのふりかえりを基に、2014年度は、異年齢児の活動と年齢別の活動のそれぞれの良さを組み合わせて保育を展開するものとする。

2. キープ自然学校・キープ森のようちえんプロジェクトとの連携

レンジャー経験のある職員が保育士として複数いるようになったため、保育園職員のみで野外活動を行うことが常態化し、散歩等で森に出かけることが日常的となりつつある。自然学校とは、フィールドの使用や整備での協働が多く、また森のようちえん事業については、保育園職員が自然学校へ出向し協働する形を取っている。

3. 環境教育プログラム・国際理解プログラム

環境教育プログラム「森のじかん」を年間52回、国際理解プログラム「平和のじかん」を年間3回実施。

4. 安全・安心な給食提供と食育の実践

毎日の給食時に給食担当から旬の食材の説明を実施し、保護者には実際の給食をディスプレイして伝えることや、年に一度の誕生会の後に給食と一緒に食べていただく活動を行った。園庭の一角に畑を作り、土作りや生長する過程を観察し、収穫したものを調理して食べる活動を行った。月に一度、食材の放射能検査を実施した。

5. 保育士の資質の向上

チーム保育を進めるため、チームの目的意識を高め問題を共有するために、園内研修を3回実施した。また、個々のスキルアップのために、外部研修への積極的参加を勧めた。

6. 新園舎建設事業

2015年4月の供用開始をめざして、建設委員会・ワーキンググループ会議・保育者によるワークショップ、募金委員会会議を、月に一度以上開催した。また、建設を機にコミュニティセンターとしての役割を高めるべく、「ヨハネっ子まつり」の復活、「小学生の森のじかん」の準備会議を開催した。

収益 I . 製販事業

KEEP for the Future2013にて提唱されている、MBFプロジェクト・教育機能の強化・環境保全型運営の三点を念頭におき、またキープ協会の健全経営に資するための収益の確保を目標とした事業運営を行った。

1. 売上動向 (金額：千円)

	2012年度	2013年度	前年比
売店	318,028	307,787	96.8%
ソフト	160,474	155,711	97.0%
飲食	60,104	57,844	96.2%
その他	538	10	1.9%
合計	539,144	521,351	96.7%

Category	2012 (Blue)	予算 (Red)	2013 (Green)
売店	318,028	340,000	307,787
ソフト	160,474	160,000	155,711
飲食	60,104	60,000	57,844
その他	538	500	10
合計	539,144	560,000	521,351

4月より7月まではほぼ前年並みの収入で推移した。8月～10月の最盛期に大きく前年割れをし累計でも5%減となった。これは大型台風の度々の襲来など天候不順が影響したためである。11月以降は安定し月次予算を踏襲していたが、再度2月の大雪の影響により売上は悪化した。通年では前年比96.7%、予算比92%となった。部門別では売店・ソフト・飲食とすべての項目が3%強の減少となっているため、観光客の入込数の減少が数字に表れている。

2. 新店舗出店

清里より1時間程度の圏内における情報発信と外販チャンネルの確保を兼ねてラザウォーク甲斐双葉店内に【清泉寮ソフトクリーム】をテナント出店した。販売品目は、ソフトクリーム、ジャージー牛乳、ヨーグルト、ドリンク類。2014年2月8日よりオープンし、お客さまからの好評を得ている。

3. 通常業務

継続的に実施した通常業務は以下の通り。

- 清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮パン工房・キープファームショップ・清泉寮セレクトショップの5店舗に、新たにラザウオーク店を加えた、6店舗を運営
- ジャージー牛乳から 生クリーム・バター・ヨーグルトを自家製造
- 無添加ソーセージを自家製造
- 天然酵母によるこだわりのパンを自家製造
- 地元産および県内産の果実を使ったジャムを自家製造
- ジャージー牛乳の消費促進および高付加価値化を図った商品展開およびメニュー展開
- 顧客満足度を高める 接客・サービスの向上
- 各店舗コンセプトの明確化による 複数店舗利用促進
- 飲食部門に於いては 「人と地球の健康」 をキーワードとした 食の安全と環境への配慮を強く意識したメニューを展開
- キープ農場産の牛肉を使用したメニューを展開
- 自家製乳製品を多用したメニューを展開
- 物産展および催事等への出張販売（別表参照）
- WEBページの改良および更新
- ギフト需要に対応した 自社通販および百貨店等の産直販売
- POSシステムと購買の一元化による徹底した仕入・在庫管理
- ACKと連携した 海外製品の直輸入
- 各種インフォメーションの充実
- 各種媒体およびメディアを活用した広報宣伝
- 景観に配慮した各店舗周辺的环境整備
- ガーデン管理および環境美化による 癒しの空間を提供
- 可能な限り外注に頼らず 自らの作業で経費を削減
- 各店舗間の横断的なシフトによる効率化で人件費を削減

4. 出張販売

場所	事業名	期日
羽村	はむら花と水のまつり	4/20～4/21
甲府 山交百貨店	山交パンフェスタ	5/22～5/27
日本橋 三越本店	人気の味特集	7/3～7/9
長坂	北杜ふるさとまつり	8/4
豊橋 ほのくに百貨店	甲斐と信濃の国の物産展	8/29～9/3

名古屋	丸栄百貨店	山梨の物産と観光展	9/5～9/10
甲府	山梨大学	医学部 学会イベント	10/5
川崎	日本食肉流通センター	ちくさんフードフェア	10/12～10/13
船橋	東武百貨店	にっぽんの味	10/24～10/30
双葉	ラザウォーク	ちくさんフードフェア	10/26～10/27
新潟	新潟伊勢丹	ズームイン!!サタデー 全国うまいもの博	10/30～11/4
羽村		羽村市産業祭	11/2～11/3
藤沢	小田急百貨店	全国うまいものと有名駅弁大会	11/13～11/19
甲府	山交百貨店	山交パンフェスタ	11/20～11/25
銀座	松屋銀座	山梨・静岡物産展	1/16～1/20
浜松	遠鉄百貨店	ズームイン!!サタデー 全国うまいもの博	3/19～3/25

出張販売件数	ソフトクリーム売上	物販売上	合 計
16 件	9,699 千円	1,970 千円	11,669 千円
前年 16 件	10,835 千円	3,093 千円	13,928 千円
前年比	89.5%	63.7%	83.8%

収益Ⅱ．ホテル事業

1. 清泉寮の宿泊研修施設を利用して、一般の宿泊客などを受け入れた。また宿泊だけではなく、立寄りでのレストランの利用も受け入れた。
 - (1) 食育をメインテーマに、安心できる食材を手作りにこだわって提供した。
 - (2) クオリティを重視し、他の施設との競争を避け施設の特色を出した。
 - (3) 売店の商品を充実させた。手作り商品が好評で、売上増加に寄与した。

広報部

1. 広報事業

- (1) キープ協会の活動を多くの人に知ってもらい、事業運営のための寄付を募ることを目的に広報を行った。
- (2) キープ協会を知っている人には、キープのプログラム参加などの情報発信を、キープ協会を知らない一般の人たちには、活動や利用促進を図るための情報提供を行うことに留意した。
- (3) キープ協会内のコミュニケーションを充実させ、スタッフが情報を共有できるよう努めた。

2. 情報発信

- (1) 対外的には、キープ協会を訪れる人たちのマーケティング、リサーチ活動を実施したほか、テレビ・雑誌等のメディア対応を行い、キープをPRした。
- (2) 内部コミュニケーション
 - ① K E E P 週報を発行し、各部からの情報を得てコミュニケーションを充実させるよう努めた。
 - ② ポール・ラッシュ記念センター、清泉寮新館・本館レストラン、ジャージーハット、八ヶ岳自然ふれあいセンター、やまねミュージアム、自然歩道を紹介する「清泉寮エリアマップ」を配布し、宿泊客や日帰り観光客に対して、新しい情報を提供してリピーターにつなげる努力をした。
 - ③ Friends of KEEP 事務局と協力して、キープ協会の情報誌（キープだより）を年間3回発行した。

3. 具体的な事業内容

- (1) 簡易版キープ総合パンフレットの制作（カラー4ページ2000部）
- (2) キープ協会内の案内看板改修。製販部・施設部等の協力を得て内部制作
- (3) キープ協会情報誌（キープだより）の発行（年間3回1000部）
- (4) 年間マーケティング調査、エコツーリズム、観光振興、各種プロモーションなどに協力。

キープ協会の環境への取り組みについて

1. ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証継続

- (1) 2005年12月の認証取得以来、環境マニュアルに従って現場での運用を継続しており、環境に配慮した業務の実施・改善に取り組んでいる。
- (2) 廃棄物のコンポスト化によるサイト内の循環型社会の確立を目指している。
- (3) 施設のソーラーパネル・木質ペレットボイラの設置・農場のバイオトイレ・循環型酪農実践による有機JAS認証の取得・イベントにおけるエコステーションの設置など、環境に配慮した積極的な取り組みを行っている。

2. 環境教育事業の展開

- (1) 環境教育事業部では、清里と那須を拠点に「教育」と「研究」を両輪とした環境教育事業を展開している。
- (2) KFTF（KEEP for the Future・キープ新5か年中長期計画）の中で、キープ協会はすべての事業において「環境」をテーマに、持続可能な社会の実現を目指して事業活動を行っている。

3. 環境保全型運営

- (1) 自然エネルギーの有効利用・ゾーニングに基づく敷地の適正管理・天然記念物ヤマネの総合的な研究の推進・環境教育の推進など、キープ協会全体が環境保全型運営のコミュニティを実践している。

決 算 報 告 書

平成 25 年 4 月 1 日から

平成 26 年 3 月 31 日まで

商号 公益財団法人キープ協会

北杜市高根町清里 3545

2013年度公益財団法人キープ協会決算総括

対予算

最終損益は▲100百万円となり、予算比▲47百万円の大幅な未達に終わった。

支出は予算比▲26百万円となるも、収入が同▲72百万円未達だったことによる。

＜収入未達の主な要因＞

- ①製販事業部(▲45百万円)8～10月における来場者減による売店収入・ソフトクリーム収入減による。
…富士山の世界文化遺産登録による観光客の動向変化と真夏の猛暑や台風の影響
- ②国際地域事業部(▲36百万円)
フィリピンでの灌漑トンネル施設建設プロジェクト計画が、補助金申請にまで至らなかった。
- ③FD(▲19百万円)寄付者へのDM送付やホームページで会員募集するも、PR不足および活動不足だった。
- ④2月の大雪による売上減(▲10百万円)・・・宿泊・食堂収入▲7百万円 ・ 売店収入▲3百万円

対前年

収入は▲17百万円、支出は▲16百万円、最終損益では▲1百万円と前年同様に留まった。

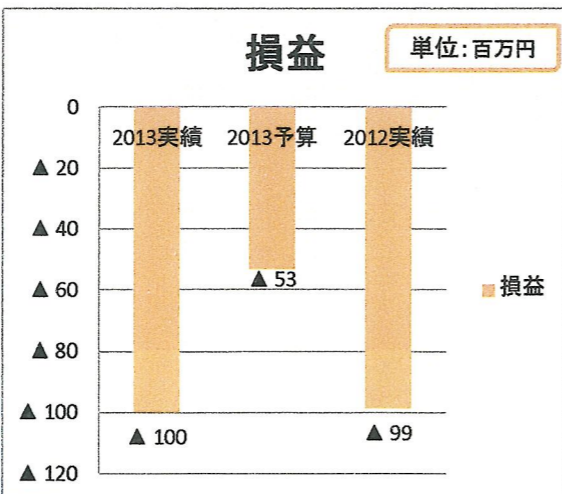
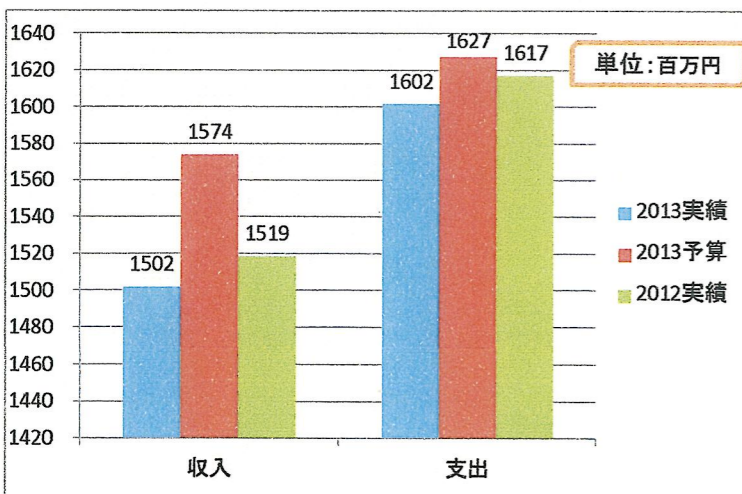
＜収入内訳＞ 寄付金収入(ヨハネ保育園新園舎建設、FD)+9百万円 ・ 会場収入(清泉寮)+5百万円

食堂収入(清泉寮)▲14百万円 ・ プログラム収入(環境教育)▲10百万円 ・ ソフトクリーム収入(製販)▲5百万円

＜支出内訳＞ 賄材料費(清泉寮、自然学校、製販)▲9百万円 ・ 雑費▲9百万円

業務用消耗品費▲7百万円 ・ 減価償却費(ボイラー他)+9百万円

	2013年度			2012年度	対前年
	実績	予算	対予算	実績	
経常収入	1,501,707,269	1,573,850,000	▲ 72,142,731	1,518,519,744	▲ 16,812,475
経常支出	1,601,524,948	1,627,110,000	▲ 25,585,052	1,617,128,983	▲ 15,604,035
うち 減価償却費	193,441,933	187,750,000	5,691,933	184,725,385	8,716,548
最終損益	▲ 99,817,679	▲ 53,260,000	▲ 46,557,679	▲ 98,609,239	▲ 1,208,440



公益財団法人キープ協会 2013年度事業別決算まとめ

収入	公1 環境教育		公2 酪農		公3 研修交流		公4 国際地域		公5 保育園		公益事業 合計	収1 製販	収2 ホテル	収益事業 合計	法人 会計	合計
	177,623,603	172,970,172	48,350,823	46,805,680	554,554,189	520,374,011	31,262,460	26,166,542	65,250,049	64,245,525						
事業収入	181,915,196	172,970,172	74,342,444	46,805,680	600,267,616	520,374,011	45,122,220	26,166,542	75,382,066	64,245,525	977,029,542	420,827,276	104,604,240	525,431,516	98,647,779	1,601,108,837
補助金・助成金	0	3,630,000	13,449,642	1,216,000	79,920,141	5,484,209	3,506,354	3,505,000	4,728,096	0	101,604,233	224,650,325	27,536,923	252,187,248	51,030	13,886,239
寄付金	120,893,194	1,023,431	29,562,331	328,943	183,213,830	28,695,969	22,350,443	1,590,918	54,960,869	1,004,129	410,980,667	122,076,751	32,791,409	154,868,160	0	32,643,390
その他雑収入	57,659,350	0	22,330,277	0	196,239,823	0	14,917,567	0	7,564,770	395	298,711,787	62,002,411	26,915,140	88,917,551	730,063	739,982
売上原価	3,362,652	0	9,000,194	0	125,705,030	0	4,347,856	0	8,128,331	0	150,544,063	12,097,789	15,483,502	27,581,291	0	32,643,390
人件費	0	0	15,188,792	0	15,188,792	0	0	0	0	0	15,188,792	0	1,877,266	1,877,266	0	13,886,239
管理販売費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収支	0	0	△ 269,901	0	△ 30,983,933	0	0	0	7,100,900	△ 24,152,934	△ 24,152,934	△ 146,188	△ 1	△ 146,189	△ 2	△ 24,299,125
他会計振替	0	0	0	0	43,806,960	0	0	0	0	0	43,806,960	0	0	0	78,163,061	0
最終損益	△ 4,291,593	△ 26,261,722	△ 32,890,400	△ 13,859,760	△ 32,890,400	△ 3,031,117	△ 13,859,760	△ 3,031,117	△ 3,031,117	△ 80,334,592	3,240,417	△ 3,240,417	0	△ 19,483,087	△ 99,817,679	

公益目的事業比率(公益目的事業比率が50%以上であること)

公益事業支出合計/支出合計 = 977,029,542/1,601,108,837 = 61.0% 問題ない。

収支相償(公益目的事業の収支は0以下であること)

各公益事業はいずれも正味財産増減額、赤字となっており、問題ない。

比較貸借対照表

平成26年3月31日現在

資産の部	科	目	平成25年度	平成24年度	差異
1. 流動資産					
現金			5,594,154	8,258,509	△ 2,664,355
当座預金			0	0	0
普通預金			16,249,389	32,009,778	△ 15,760,389
郵便定期預金			1,407,652	1,781,455	△ 373,803
売却掛金			0	0	0
棚卸資産			72,843,875	68,335,694	4,508,181
未収金			47,843,685	41,112,973	6,730,712
未立替金			5,157,429	2,695,081	2,462,348
仮払金			2,841,671	204,251	2,637,420
貸倒引当金			714,934	2,976,471	△ 2,261,537
			△ 545,300	△ 500,100	△ 45,200
流動資産合計			152,107,489	156,874,112	△ 4,766,623
2. 固定資産					
① 基本財産					
特定預金			0	107,414,230	△ 107,414,230
特定建物			1,231,303,197	1,282,139,434	△ 50,836,237
基本財産合計			1,231,303,197	1,389,553,664	△ 158,250,467
② 特定資産					
保育園引当預金			0	13,500,000	△ 13,500,000
施設整備基金引当預金			271,052	1,560	269,492
ラッシュ基金創設引当預金			2,096,591	59,159	2,037,432
ラッシュセンター運営引当預金			402,014	76,217	325,797
震災支援引当預金			0	600,217	△ 600,217
建物			47,968,990	51,873,888	△ 3,904,898
設備			19,452,556	22,750,983	△ 3,298,427
建設仮勘定			36,285,598	29,184,698	7,100,900
特定資産合計			106,476,801	118,046,722	△ 11,569,921
③ その他固定資産					
建物			353,924,598	320,187,210	33,737,388
設備			384,726,830	422,254,909	△ 37,528,079
構築物			204,726,997	222,324,325	△ 17,597,328
農機具			2	2	0
車両運搬具			291,810	30,079	261,731
什器備品			22,256,356	28,647,858	△ 6,391,502
牛馬			4,824,522	5,303,943	△ 479,421
リース資産			133,496,810	101,059,484	32,437,326
ソフトウェア			199,617	0	199,617
電話加入権			1,890,681	1,890,681	0
通信施設利用権			302,005	409,295	△ 107,290
著作権			4,710,417	4,710,417	0
出資金			1,417,000	1,417,000	0
長期貸付金			5,460,763	6,935,009	△ 1,474,246
長期前払費用			36,615,102	36,615,102	0
差入保証金			1,606,960	106,960	1,500,000
繰延資産			6,689,553	7,617,200	△ 927,647
その他固定資産合計			1,163,140,023	1,159,509,474	3,630,549
固定資産合計			2,500,920,021	2,667,109,860	△ 166,189,839
資産合計			2,653,027,510	2,823,983,972	△ 170,956,462

比較貸借対照表

平成26年3月31日現在

負債・正味財産の部

科	目	平成25年度	平成24年度	差異
1. 流動負債				
買掛金		15,941,623	22,787,989	△ 6,846,366
短期借入金		0	40,000,000	△ 40,000,000
未払金		62,941,305	71,240,357	△ 8,299,052
未払消費税等		3,798,600	9,889,400	△ 6,090,800
未払法人税等		142,400	142,400	0
預り金		17,677,699	16,973,729	703,970
仮受金		12,235,112	15,632,980	△ 3,397,868
賞与引当金		10,510,000	12,490,000	△ 1,980,000
流動負債合計		123,246,739	189,156,855	△ 65,910,116
2. 固定負債				
長期未払金		140,340,666	106,286,733	34,053,933
長期借入金		744,574,000	779,574,000	△ 35,000,000
退職給付引当金		20,768,095	25,050,695	△ 4,282,600
固定負債合計		905,682,761	910,911,428	△ 5,228,667
負債合計		1,028,929,500	1,100,068,283	△ 71,138,783
3. 正味財産				
① 指定正味財産				
補助金・助成金		46,320,759	49,679,968	△ 3,359,209
寄付金		442,320,218	462,844,023	△ 20,523,805
指定正味財産合計		488,640,977	512,523,991	△ 23,883,014
(内基本財産への充当額)	(414,118,531)	(437,899,120)	(△ 23,780,589)
(内特定資産への充当額)	(74,522,446)	(74,624,871)	(△ 102,425)
② 一般正味財産		1,135,457,033	1,211,391,698	△ 75,934,665
(内基本財産への充当額)	(817,184,666)	(951,654,544)	(△ 134,469,878)
(内特定資産への充当額)	(31,954,355)	(43,421,851)	(△ 11,467,496)
正味財産合計		1,624,098,010	1,723,915,689	△ 99,817,679
負債基本財産合計		2,653,027,510	2,823,983,972	△ 170,956,462

正味財産増減計算書

自平成25年4月1日～至平成26年3月31日

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計	
	環境教育事業	酪農事業	研修交流事業	国際地域事業	保育園事業	共通	小計	製販事業	ホテル事業	共通			小計
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
(基本財産運用益)													
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	6,416	6,416	6,416	0	0	6,416	0	12,832
(受取会費)													
受取会費	0	0	395,746	0	0	0	395,746	395,746	0	0	395,746	0	791,492
(事業収益)													
事業収益明細	172,970,172	46,805,680	519,971,849	26,166,542	64,245,525	0	830,159,768	545,772,216	101,363,824	0	647,136,040	220,540	1,477,516,348
(受取補助金等)													
補助金助成金収入	3,630,000	1,216,000	125,000	3,505,000	0	0	8,476,000	0	0	0	0	51,030	8,527,030
指定正味財産より振替補助金収入						5,359,209	5,359,209						5,359,209
(受取寄付金)													
寄付金収入	1,023,431	328,943	3,071,264	1,590,918	1,004,129	0	7,018,685	0	0	0	0	0	7,018,685
指定正味財産より振替寄付金収入						25,624,705	25,624,705						25,624,705
(雑収益)													
受取利息	0	0	0	0	395	0	395	0	0	0	0	113,728	114,123
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	9,524	0	0	9,524	616,335	625,859
経常収益計	177,623,603	48,350,623	523,563,859	31,262,460	65,250,049	30,990,330	877,040,924	546,183,902	101,363,824	0	647,547,726	1,001,633	1,525,590,283
(2) 経常費用													
(事業費用)													
事業費用明細	181,915,196	74,342,444	600,267,616	45,122,220	75,382,066	0	977,029,542	420,827,276	104,604,240	0	525,431,516	0	1,502,461,058
(管理費用)													
管理費用明細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98,647,779	98,647,779
経常費用計	181,915,196	74,342,444	600,267,616	45,122,220	75,382,066	0	977,029,542	420,827,276	104,604,240	0	525,431,516	98,647,779	1,601,108,837
当期経常増減額	△ 4,291,593	△ 25,991,821	△ 76,703,757	△ 13,859,760	△ 10,132,017	30,990,330	△ 99,988,618	125,356,626	△ 3,240,416	0	122,116,210	△ 97,646,146	△ 75,518,554
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
固定資産廃棄損	0	1	19	0	0	0	20	3,788	1	0	3,789	2	3,811
牛処分損	0	269,900	0	0	0	0	269,900	0	0	0	0	0	269,900
リース解約損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	269,901	19	0	0	0	269,920	3,788	1	0	3,789	2	273,711
当期経常外増減額	0	△ 269,901	△ 19	0	0	0	△ 269,920	△ 3,788	△ 1	0	△ 3,789	△ 2	△ 273,711
他会計振替額						43,806,960	43,806,960			△ 121,970,021	△ 121,970,021	78,163,061	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,291,593	△ 26,261,722	△ 76,703,776	△ 13,859,760	△ 10,132,017	74,797,290	△ 56,451,578	125,352,838	△ 3,240,417	△ 121,970,021	142,400	△ 19,483,087	△ 75,792,265
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142,400	142,400	0	142,400
当期一般正味財産増減額	△ 4,291,593	△ 26,261,722	△ 76,703,776	△ 13,859,760	△ 10,132,017	74,797,290	△ 56,451,578	125,352,838	△ 3,240,417	△ 122,112,421	0	△ 19,483,087	△ 75,934,665
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	1,032,511,350	0	0	0	104,681,914	74,198,434	1,211,391,698
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	976,059,772	0	0	0	104,681,914	54,715,347	1,135,457,033
II 指定正味財産増減の部													
受取寄付金	0	0	0	0	5,100,900	0	5,100,900	0	0	0	0	0	5,100,900
受取補助金等	0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000	0	0	0	0	0	2,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	30,983,914	30,983,914	0	0	0	0	0	30,983,914
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	7,100,900	△ 30,983,914	△ 23,883,014	0	0	0	0	0	△ 23,883,014
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	512,523,991	0	0	0	0	0	512,523,991
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	488,640,977	0	0	0	0	0	488,640,977
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	1,464,700,749	0	0	0	104,681,914	54,715,347	1,624,098,010

正味財産増減計算書

(事業収益内訳)

	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	環境教育事業		国際地域事業		保育園事業		製販事業	ホテル事業	共通	小計		
	酪農事業	研修交流事業	国際地域事業	保育園事業	共通	小計						
宿泊収入	0	260,920,628	8,597,288	0	0	289,517,916	298,096	27,282,195	0	27,580,291	0	297,098,207
食堂収入	0	230,487,412	13,691,122	0	0	244,178,534	60,006,052	57,559,654	0	117,565,706	0	361,744,240
売店収入	0	0	0	0	0	0	328,924,786	15,728,526	0	344,653,312	0	344,653,312
使用料収入	0	4,506,182	98,383	0	0	5,352,425	393,335	718,248	0	1,111,583	0	6,464,008
ソフトウェア収入	0	0	0	0	0	0	155,711,081	0	0	155,711,081	0	155,711,081
プログラム収入	60,179,782	9,783,730	21,423,899	1,215,578	0	92,602,989	0	0	0	0	0	92,602,989
入館料	4,862,974	2,071,894	552,765	0	0	7,487,633	0	0	0	0	0	7,487,633
牛売却収入	0	2,221,980	0	0	0	2,221,980	0	0	0	0	0	2,221,980
牛乳収入	0	33,397,740	0	0	0	33,397,740	0	0	0	0	0	33,397,740
受託費収入	107,656,167	0	1,937,477	0	0	109,593,644	0	0	0	0	0	109,593,644
運営費収入	0	0	0	63,725,830	0	63,725,830	0	0	0	0	0	63,725,830
その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	271,249	561,834	73,929	519,695	0	2,081,077	488,866	75,201	220,540	514,067	220,540	2,815,684
合計	172,970,172	519,971,849	26,166,542	64,245,525	0	830,159,768	545,772,216	101,363,824	0	647,136,040	220,540	1,477,516,348

正味財産増減計算書

(事業費内訳)

	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	環境教育事業		国際地域事業		保育園事業		製販事業	ホテル事業	共通	小計		
	酪農事業	研修交流事業	国際地域事業	保育園事業	共通	小計						
期首高	0	491,380	5,957,639	99,709	0	6,548,728	31,242,459	3,321,786	0	34,564,245	0	41,112,973
商店材料費	0	0	0	0	0	0	183,850,163	10,165,488	0	194,015,651	0	194,015,651
宿泊材料費	0	0	0	0	0	0	24,919,520	0	0	24,919,520	0	24,919,520
食堂材料費	0	79,093,817	3,461,386	3,752,999	0	86,308,202	21,857,559	18,234,138	0	40,091,697	0	126,399,899
売店材料費	0	11,947,032	0	0	0	11,947,032	0	0	0	0	0	11,947,032
ソフトウェア購入費	0	3,031,901	0	0	0	3,031,901	0	0	0	0	0	3,031,901
プログラム購入費	0	1,099,093	0	0	0	1,099,093	0	0	0	0	0	1,099,093
入館料	0	△1,866,000	0	0	0	△1,866,000	0	0	0	0	0	△1,866,000
牛売却除税	0	0	0	579,798	0	579,798	0	0	0	0	0	579,798
牛乳除税	0	0	0	395,299	0	395,299	0	0	0	0	0	395,299
受託除税	0	△1,253,764	△5,131,315	△54,741	0	△6,439,820	△37,219,376	△4,184,489	0	△41,403,865	0	△47,843,685
運営除税	0	1,650,000	0	0	0	1,650,000	0	0	0	0	0	1,650,000
その他除税	57,971,607	19,825,139	110,548,042	13,287,898	36,203,023	237,835,709	64,026,901	22,167,078	0	86,193,979	0	324,029,688
雑収入	6,329,060	1,718,961	10,974,019	436,253	3,879,584	23,337,877	6,031,052	2,169,687	0	8,200,739	0	31,538,616
雑収入	37,665,704	1,149,063	35,596,238	5,381,557	6,588,560	86,381,122	35,157,136	3,704,356	0	38,861,492	0	125,242,614
雑収入	13,963,464	4,096,828	21,387,897	2,802,036	6,502,992	48,753,217	13,756,851	3,980,543	0	17,737,394	0	66,490,611
雑収入	4,380,676	1,451,218	3,650,228	417,804	1,306,695	11,206,621	2,757,138	795,410	0	3,492,548	0	14,699,129
雑収入	582,683	△328,878	1,057,406	24,895	480,015	1,816,121	347,673	34,335	0	382,008	0	2,198,129
雑収入	8,720,454	97,524	31,743,488	313,914	278,370	41,153,750	2,017,464	4,158,037	0	6,175,501	0	47,329,251
雑収入	179,891	1,486,238	66,612	17,547	186,162	1,936,450	11,566	2,610	0	14,176	0	1,950,626
雑収入	544,412	181,446	1,264,904	216,990	244,944	2,452,696	1,226,623	234,623	0	1,461,246	0	3,913,942
雑収入	1,502,692	0	0	0	0	1,502,692	0	0	0	0	0	1,502,692
雑収入	4,027,799	151,395	16,818,294	983,910	554,401	22,485,799	12,726,497	2,372,534	0	15,099,031	0	37,584,830
雑収入	165,341	0	420,309	47,620	21,241	654,511	5,715	33,135	0	38,850	0	693,361
雑収入	278,477	67,626	16,724,135	291,014	35,323	17,396,575	5,460,369	2,840,555	0	8,300,924	0	25,697,499
雑収入	1,228,354	2,333,457	12,923,705	426,470	124,807	17,036,793	2,890,527	1,193,714	0	4,084,241	0	21,121,034
雑収入	3,043,457	259,261	1,107,403	260,227	427,591	5,097,939	101,214	84,089	0	185,303	0	5,283,242
雑収入	27,882	42,382	221,216	800	0	292,280	27,197	18,605	0	45,802	0	338,082
雑収入	1,653,148	0	1,319,206	237,726	65,357	3,275,437	2,740,167	469,804	0	3,209,971	0	6,485,408
雑収入	2,762,951	3,114,238	52,858,840	2,702,629	1,711,098	63,149,756	14,644,905	8,798,274	0	23,433,179	0	86,582,935
雑収入	1,579,974	534,205	2,795,064	387,000	300,808	5,487,051	3,275,246	111,020	0	3,386,266	0	8,873,317
雑収入	16,656,274	573,790	2,136,662	2,017,116	0	21,383,842	0	0	0	0	0	21,383,842
雑収入	7,789,043	1,855,451	2,989,454	533,547	401,534	13,569,029	3,115,148	305,392	0	3,420,540	0	16,989,569
雑収入	0	0	0	3,670,103	0	3,670,103	0	0	0	0	0	3,670,103
雑収入	232,800	721,172	10,494,744	14,420	4,067	11,467,203	534,394	1,141,714	0	1,676,108	0	13,143,311
雑収入	493,972	8,371,402	14,171,036	1,387,666	155,411	24,579,487	6,075,285	1,674,206	0	7,749,491	0	32,328,978
雑収入	928,836	1,268,393	2,417,901	26,470	0	4,641,600	722,942	201,795	0	924,737	0	5,566,337
雑収入	3,362,652	9,000,194	125,705,030	4,347,856	8,128,331	150,544,063	12,097,789	15,483,502	0	27,581,291	0	178,125,354
雑収入	0	0	15,188,792	0	0	15,188,792	0	1,877,266	0	1,877,266	0	17,066,058
雑収入	4,071,612	792,598	22,580,720	896,713	1,422,946	29,764,589	4,612,466	2,603,829	0	7,216,295	0	36,980,884
雑収入	17,195	9,223	60,535	181,178	552,784	820,915	60,342	10,069	0	70,411	0	891,326
雑収入	29,700	△16,300	38,616	37,400	0	89,416	△38,900	4,884	0	△34,016	0	55,400
雑収入	1,725,086	486,776	3,146,979	367,107	1,077,926	6,803,874	1,793,244	666,251	0	2,459,495	0	9,263,369
合計	181,915,196	74,342,444	600,267,616	45,122,220	75,382,066	977,029,542	420,827,276	104,604,240	0	525,431,516	0	1,502,461,058

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
特定預金	107,414,230	0	107,414,230	0
建物	1,282,139,434	0	50,836,237	1,231,303,197
小計	1,389,553,664	0	158,250,467	1,231,303,197
特定資産				
保育園引当預金	13,500,000	0	13,500,000	0
施設整備基金引当預金	1,560	270,017	525	271,052
ラッシュ基金創設引当預金	59,159	2,037,432	0	2,096,591
ラッシュセンター運営引当預金	76,217	325,797	0	402,014
震災支援引当預金	600,217	821,073	1,421,290	0
建物	51,873,888	0	3,904,898	47,968,990
設備	22,750,983	0	3,298,427	19,452,556
建設仮勘定	29,184,698	7,100,900	0	36,285,598
小計	118,046,722	10,555,219	22,125,140	106,476,801
合計	1,507,600,386	10,555,219	180,375,607	1,337,779,998

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
特定預金	0			
建物	1,231,303,197	(414,118,531)	(817,184,666)	
小計	1,231,303,197	414,118,531	817,184,666	0
特定資産				
保育園引当預金	0			
施設整備基金引当預金	271,052		(271,052)	
ラッシュ基金創設引当預金	2,096,591		(2,096,591)	
ラッシュセンター運営引当預金	402,014		(402,014)	
震災支援引当預金	0			
建物	47,968,990	(47,968,990)		
設備	19,452,556	(19,452,556)		
建設仮勘定	36,285,598	(7,100,900)	(29,184,698)	
小計	106,476,801	74,522,446	31,954,355	0
合計	1,337,779,998	488,640,977	849,139,021	0

4. 担保に供している資産

国際交流センターの建物は、山梨中央銀行より借入た7,44574億円(借入条件13年返済)の担保が設定されている。

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
基本財産建物	1,715,658,602	484,355,405	1,231,303,197
特定資産建物	66,184,729	18,215,739	47,968,990
特定資産設備	43,631,822	24,179,266	19,452,556
建物	1,026,121,010	672,196,412	353,924,598
設備	1,069,784,581	685,057,751	384,726,830
構築物	447,690,754	242,963,757	204,726,997
農機具	3,800,000	3,799,998	2
車両運搬具	10,952,276	10,660,466	291,810
什器備品	161,933,700	139,677,344	22,256,356
牛馬	9,787,000	4,962,478	4,824,522
リース資産	287,211,519	153,714,709	133,496,810
ソフトウェア	888,666	689,049	199,617
通信施設利用権	2,145,816	1,843,811	302,005
合計	4,845,790,475	2,442,316,185	2,403,474,290

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金					
地球環境基金助成金					
やまねミュージアム活動助成	0	3,000,000	3,000,000	0	
北杜市緑化推進会議補助金	0	51,030	51,030	0	
北杜市環境保全基金	0	230,000	230,000	0	
北杜市環境保全事業補助金	0	187,000	187,000	0	
国土緑化推進機構 フィリピン森林再生事業	0	2,668,000	2,668,000	0	
河川環境整備基金	0	400,000	400,000	0	
ポールラッシュの会 フィリピン奨学金助成金	0	500,000	500,000	0	
山梨県畜産協会 飼料助成金	0	30,000	30,000	0	
山梨県畜産協会 死亡牛処理補助金	0	10,000	10,000	0	
キープ日本後援会 国際交流事業助成金	0	150,000	150,000	0	
関東農政局 H25年度酪農環境負荷軽減支 援事業奨励金	0	1,176,000	1,176,000	0	
山梨労働局派遣労働者 雇用安定化特別奨励金	0	125,000	125,000	0	
日本聖公会 保育園新園舎建設助成金	0	2,000,000		2,000,000	建設仮勘定
NEDO 国際交流センターペ レットボイラー取得助成金	14,962,500		2,137,500	12,825,000	特定資産設備
広域関東圏産業活性化センターグ リーン電力助成金 太陽光発電	562,500		562,499		1 特定資産設備
広域関東圏産業活性化センターグ リーン電力助成金 太陽光発電	735,063		61,638	673,425	特定資産設備
自然共生型研修施設整備事業助成金 日本宝くじ協会	33,419,905		2,597,572	30,822,333	特定資産建物
合計	49,679,968	10,527,030	13,886,239	46,320,759	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

科 目	金 額
経常収益への振替	
減価償却費計上による振替額	23,569,684
特定預金取崩による振替額	7,414,230
合計	30,983,914

8. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	12,490,000	10,510,000	12,490,000		10,510,000
退職給付引当金	25,050,695	7,421,772	11,704,372		20,768,095
貸倒引当金	500,100	45,200			545,300

監査報告書

公益財団法人 キープ協会
理事長 茅野 徹郎 殿

平成26年 5月 20日

公益財団法人 キープ協会

監事 進藤 中

監事 平松 守



私たち監事は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行について監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会及びその他重要な会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関係する書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書の正確性を検討した。

2 監査意見

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 計算書類及び附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。

以 上